

第2期計画に向けた方向性と目標の検討の考え方について

1. 保全3分野に場という視点を加える
 - ・ これまでの施策の延長という観点から、第1期計画の計画対象事項である保全3分野を踏襲することが必要である。
 - ・ 保全3分野にもう一つの軸として場という視点を加え、2次元的に考えるということは理解できる。

2. 「琵琶湖の総合保全」について
 - ・ この計画調査の目的は「琵琶湖の総合保全」であり、主たる対象は琵琶湖であり、流域は従との位置づけになっていると考える。
 - ・ 一方、マザーレイク骨子案での目的は、「琵琶湖流域の総合保全」であり、湖内、湖辺域、集水域での取組が対等に位置づけられ、総合保全の対象は「琵琶湖流域」全体となっているように見えるので、今後の取りまとめにあたって留意する必要がある。